

3. 共同研究実施報告

(1) 共同研究体制の構築

本事業は、「シーケンシャル・ユース」をキーコンセプトとして、環境調和型産業システムとくに資源循環型の生産システムを構築するための基盤技術を開発することにより、新しい環境産業の創出と既存産業への環境調和型プロセスの導入を図ろうとするものである。共同研究体制は、「シーケンシャル・ユース・プロセス技術の開発」、「シーケンシャル・ユース化新材料の開発」、「シーケンシャル・ユース・システム構築法とプロセス評価手法の開発」の3グループ、6サブテーマから構成され、研究統括の指揮のもとに研究開発が進められた。

本事業の研究における、研究課題、研究リーダー及び雇用研究員、各研究参加機関の分担・連携等の体制は図3-1のとおりである。ここでは、サブテーマ毎に研究リーダーを中心にコア研究室の雇用研究員と研究参加機関とが常に綿密な打合せを行っており、相互に研究協力しながら順調に研究が進めてきた。

また、これら研究テーマの目標達成状況の把握や各テーマ間の調整を行うために、研究リーダー会議を年に数回開催すると同時に、より大局的な立場から共同研究の計画立案・実施についての調整を行うために産学官の共同研究者から構成される共同研究推進委員会を年2回開催し、各グループ間の連携を強めるとともに研究成果を事業化へ進めるための方策について検討してきた。

さらに、各研究グループの成果の進展とともに、県内の公的研究機関および研究開発型企業の関心も高まりつつあり、フェーズⅢへの展開に向けての研究ネットワークは拡大の方向にある。



研究体制と研究参加機関

事業名：環境調和型産業システム構築のための基盤技術の開発

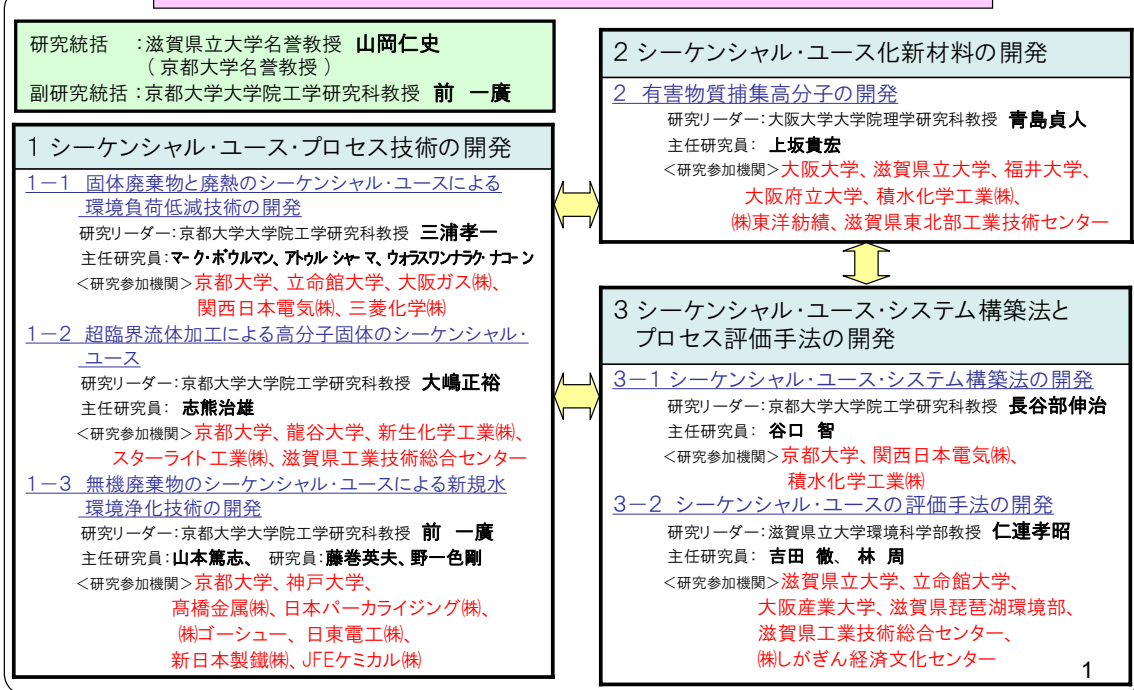


図3-1 研究体制と研究参加機関